



黒潮町に来た**きっかけ**は？

文学館・図書館の仕事で募集があったことと、**单身・女性の移住者**も多いようなので、私でも大丈夫かなと思いで応募しました。

縁もゆかりもない町のはずでしたが、移住を決めてから、家に**黒潮町の貝殻**があったことに気づいたり、**上林暁**の新刊『孤独先生』を生み出した**島田潤一郎**さんと**山本善行**さんと東京で出会えたり、後輩から「実は**上林暁が好き**です」と告白されたり……などと、**不思議なご縁**が次々につながりました。

大方あかつき館（生涯学習係）
上林暁文学館サポーター

上林暁文学館と大方図書館の業務を担当しています。おもに文学館の展示やイベントの準備・運営を行い、時々ですが、図書館の受付も担当することがあります。最近では、**大方あかつき館のInstagram**を開設しました（@ogata_akatsuki_kan）。また、**上林暁の記念碑と、おいしいお酒やおやつのお店をめぐる地図が付いたパンフレット**も作成しています。上林暁や黒潮町の魅力を発信できるよう、試行錯誤中です。

活動内容

高橋 茉利江
Takahashi Marie
From **東京**

黒潮町の**ここが好き**

海の風景です。キラキラした砂浜も素敵ですが、私のいちおしは「**弔ひ鳥**」の碑がある**井の岬**周辺の、**ゴツゴツした海岸**です。最初はなんとなく怖くて近寄りたかったのですが、何度も見ているうちに、**何にどれだけ耐え抜いたら、こんなふうになるんだろう……**という質感が、とても好きになりました。

黒潮町で**やりたい**こと・今後の**夢**

みなさんと一緒に**本を読むことや言葉で表現すること**を通して、生活を楽しんでいきたいです。黒潮町では、上林暁の作品を読んだり、文章や俳句・短歌を発表したりする場がずっと続けられていることに驚きました。その中で、より多くの人が**気軽に本や言葉を楽しめる**ようなお手伝い如果能したら、と考えました。そこで、まずは**読書会**をやってみようと思います。みなさんが読書や日々の生活を通してどんなことを思っているのか、お聞きできたらうれしいです。